

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市民舞台芸術創造支援事業	会計	一般会計	事業No.	796	施策順No.	27-009
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-7-11-5		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	文化会館		
施策	27 文化芸術の振興			事業期間	開始	15	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」にした状態にすることです	対象	文化創造活動に自ら主体的に関わっている市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		文化創造活動に自ら主体的に関わっている市民の数	7247	7431	6790	6601		
	意図	①新たな舞台芸術創造に関心を持ち、舞台芸術を表現するための技術のレベルアップを図る。 ②新たな舞台芸術を創造し、発信する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	①レベルアップ講習会に参加した割合(%)	33	31	37	30	30	30	A
	②新たな舞台芸術を創造した数	1			1	1	1	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	文化芸術団体の主体的な研修活動と創造活動を支援することにより、多くの市民が活動に参加し、新たな作品が創造され、目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術活動(合唱、器楽、舞踊、芝居など)を行っている文化芸術団体が、レベルアップのために実施する専門家による技術指導などの経費の一部を助成する。</li> <li>新たな舞台芸術を創造し、発信する活動に対して、経費の一部を助成する。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	舞台芸術創造支援事業実行委員会に負担金を支出 ・飯田文化協会役員等で構成する実行委員会を通じて伊那谷文化芸術祭の参加団体等へ活用を呼びかけた。 ・助成を受けた団体は伊那谷文化芸術祭等において活動の成果を発表した。	(1) 講習会回数(回) (2) 参加者数(人)	(1) 56回 (2) 2,157人
23年度実施計画	舞台芸術創造支援事業実行委員会に負担金を支出 ・飯田文化協会役員等で構成する実行委員会を通じて伊那谷文化芸術祭の参加団体等へ活用を呼びかける。 ・助成を受けた団体は伊那谷文化芸術祭等において活動の成果を発表する。 ・レベルアップと創造への支援に関する募集方法と、その支援の仕組みについて内容を組み立てる。 【平成23年度特殊事情 500千円増額】 ・伊那谷文化芸術祭への参加団体が減少している。(H20=2,769人、H21=2,484人、H22=1,800人) ・施策の成果指標である「文化芸術活動に自ら主体的に関わっている市民の数」を増やすためには、市民の主体的な活動を促すための支援が必要である。 ・平成23年度は伊那谷文化芸術祭5周年にあたるため、参加団体がジャンルの枠を超えた新たな取組みなどに取り組む活動を支援するために事業費を500千円増額する。	(1) 講習会回数(回) (2) 参加者数(人)	(1) 回 (2) 人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	1,400	1,400	1,900	
		計(A)	1,400	1,400	1,900	
		正規職員所要時間		400		
		臨時職員等所要時間		200		
		人件費計(B)		1,645		
		トータルコスト A+B		3,045		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな文化の担い手の育成に力を入れるべきである。(H21決算認定に関わる議会からの提言)</li> <li>市民からの要望に応える形で実施されていることから、文化芸術に関わる団体等から好意的に受け止められている。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	② 市民が自己表現の機会を得られるようにする。	施策の成果指標又はムトス指標	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合(%・減らす)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	舞台芸術の愛好者が専門家から指導を受け、技術力を向上させ意欲的に制作・発表することにより、自己表現の機会を充実させてきた。		
	後期に向けた課題	より多くの市民が舞台芸術のレベル向上及び新たな創造に取り組めるように、募集方法、支援の仕組みの見直しが必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	文化芸術に関する市民が実行委員会を組織し、担い手の横のつながりを支援することにより、活動の活発化を図ってきた。		
	後期に向けた課題	新たな担い手を発掘し、育成するための仕組みの見直しが必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	同一目的の複数の団体が共同して研修会を実施することによりコストを削減している。		
	後期に向けた課題	引き続きコストの削減に努めていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者は、講習会等の受講者であり受講料を負担している。受講料は、他の講習会等を参考に決定しているが、主催団体によりバラつきもある。 市は、市民が受講料や参加費により主体的に実施する講習会等の経費を一部負担しているが、負担割合は他の市民活動支援策と比べても適切である。また実行委員会の事務局を担っているが、市民の主体的な活動を支援するための事務処理等であり適切である。		
	後期に向けた課題	参加者の受講料の負担割合についての見直しが必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は実行委員会と舞台芸術活動を行う市民及び団体である。実行委員会は、地域文化振興の観点から、助成事業の募集、審査、決定を担っている。市民及び団体は、一定程度を自己負担して、技術力向上などの研修を自主的に企画して実施している。 ②市は、実行委員会の事務局として支援している。		
	後期に向けた課題	多様なジャンルや団体が年々増加していく中、より多くの市民が積極的に取り組めるような働きかけが必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市民による実行委員会が、必要な支援の仕組みを検討し、文化芸術団体が講習会の企画・実施並びに発表機会を提供することにより、市民の自己表現機会が充実したが、支援を受ける団体や活動に固定化も見られる。		
	後期に向けた課題	受益者負担のあり方も含めて、より効果的かつ創造的な取組みを支援できる仕組みについて、実行委員会と検討し、見直す必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------